

河川等の公共水域への

油流出事故に注意をしましょう!

冬期になると一般家庭のホームタンクからの灯油等の小分け作業時の取扱不注意により、道路側溝や用水路を通じて河川への油流出事故が増えます。

河川では、水道用水・工業用水・農業用水・発電用水などの生活関連の水が取水されています。河川への油流出事故が発生すると、これらの生活関連用水の取水が停止されるなど、社会生活に大きな影響を与える場合があります。また、河川で生息する魚や動植物へも大きな影響を与える場合もあります。

個々の家庭やガソリンスタンド等でも油脂類の取扱に十分注意してください。

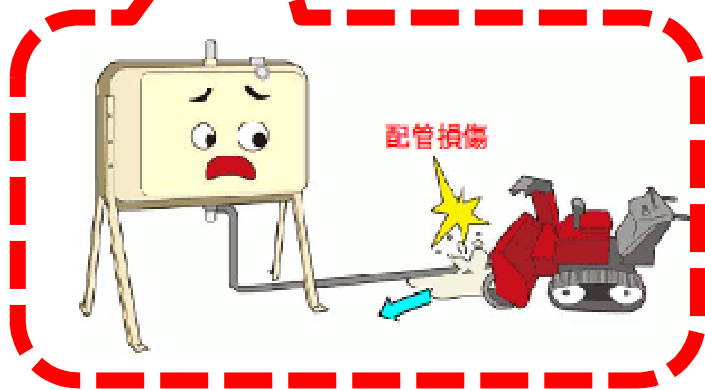
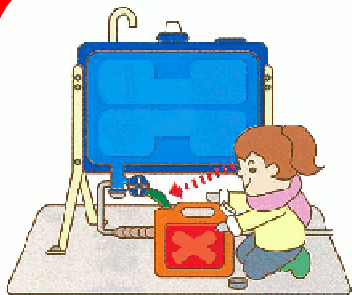
河川や側溝等で油流出を発見した場合は、お近くの消防署・警察署・市町村・県・国土交通省に通報をお願いします。すばやい対応が被害拡大を防ぎます。皆様のご協力をお願いします。



河川での水質事故時の被害拡大防止のための応急措置状況

油脂類の取扱には十分な注意を!

- ★給油中は、その場を離れない、目を離さない・バルブは確実に閉鎖する。
- ★ホームタンクは転倒しないように固定する。
- ★ホームタンクには流出防止装置(防油堤など)の措置を行う。
- ★ホームタンクや配管については定期的な漏えい検査を行う。
- ★除雪機械等で配管を傷つけないよう注意する。



油脂類を家庭からこぼしてしまった時の応急措置の注意

- ★油を水で洗い流したり、油処理剤等を使用すると被害の拡大につながります。
- ★側溝等に流れださないように、新聞紙や布で拭き取り、油回収をしてください。